



フィリピンに高校・大学

光星学院、現地と協定

フィリピンへの高校、大学開設を進めている八戸市の学校法人光星学院(法官新一理事長)と子会社の八戸学院グループ(HGG、大谷真樹代表取締役社長)

は19日、現地で学校を共同運営するカーテル科学教育財団(カリート・アレナス理事長)、同財団が運営するCNEI国際語学学校

協定書に署名した(左から)カリート代表、カリート理事長、法官理事長、大谷社長

(カリート・アレナス代表)と連携協力協定を締結した。4者は学校運営や現地卒業生の日本企業就職などで幅広く連携する。

カリート理事長とカリート代表が同日、同市の八戸学院大学を訪れ、法官理事長、大谷社長とともに4者協定に署名した。

協定は11項目からなり、今年6月に現地のカーテル高校を「カーテル八戸学院高校」とする、日本と日本文化を学ぶカリキュラムの導入に協力する、現地での

大学開設など当事者間でのさらなる契約を可能とするなどと定めている。協定の有効期間は来年3月末までだが、1年ごとに自動更新される。

調印後の記者会見で大谷社長は、HGGがCNEIに出資する形で資本提携することも明らかにした。大谷社長はCNEIの取締役

に就任したという。光星学院はフィリピンに高校のほか、2019年をめどにIT(情報技術)系の大学を同財団とともに開設する方針。

会見でカリート理事長は「4者の協力関係が発展することで、フィリピンと日本の相互理解が深まるだろ

う」と述べた。法官理事長は「教育の分野で4者が連携を強め、生徒や学生が国際社会で活躍できるようにしたい」と期待感を示した。

(若松清巳)